



こんなときどうする？ けが・事故の対応

どんなに気をつけていても、子どもは、予測のつかないところでけがを……。そんなとき、大人が動揺すると子どもはとても不安になってしまいます。状況を落ち着いて判断し、慌てず的確な処置ができるよう、基本的な知識を身につけておきましょう。

すり傷

こんなときは **病院へ**

★顔の深いすり傷

顔から突っ込むようにして転んだときなど。目の周辺や傷あとが残りそうなときは、念のため外科・眼科へ。

★傷が化膿しそう

傷口がじくじくして、いつまでも乾かないようなら、一度外科へ。特にどぶ川など不衛生なところでのすり傷は細菌が入ることもあるので要注意。



★すり傷のほかに打撲もある

転んだ拍子に強打しているかもしれない。冷やしてもはれが引かない打撲がある、またはいつまでも痛がる場合は、外科・整形外科へ。

★いつまでも痛がる

きれいに洗ったつもりでも、傷の中にガラスや石が残っていることも。外科へ。

★土や石、ガラスが傷口に入って、取れない

流水でも取れない場合、無理に取ろうとしたり、強くこすったりすると、かえって危険。すみやかに外科へ。

すり傷の応急手当て

①傷口を流水で洗う

強くこすらないように注意して、傷口の泥や砂を水道の流れる水でよく洗い流す。



②出血があれば止血する

清潔なガーゼを厚めに重ね、血の出ている部分を少し強く押し止血。



③傷口の保護

血が止まったら、傷口に直接ガーゼまたは絆創膏等で傷口を保護する。

注 消毒液は使わない



傷が治るまで…

●入浴はぬるめのお湯で

小さな傷でも、お湯に入るとしみていやがるので、湯加減はぬるめに。

ガーゼやばんそうこうが汚れたら取り替え、寝る前に消毒を。

④化膿止めを塗る

化膿止めの抗生物質を塗り、傷口をガーゼで保護。包帯を巻くか、ばんそうこうで留める。小さな傷なら救急ばんそうこうでOK。





切り傷・とげ

こんなときは 病院へ

★頭や目の近くを切った

出血が多いのが頭部のけが。頭は危険な場所でもあるので、出血が多い場合は、清潔なガーゼを圧迫するように当てて外科へ。

★傷口がじくじくしている

いつまでも傷口がじくじくしている場合、化膿している可能性も。外科へ。



★激しく痛がる

傷口の奥に、とげやガラスの破片が残っていると、激しく痛がる。ほうっておくと破傷風の危険もある。外科へ。

! こんなときは救急車を

- ・ぱっくり開いた深い切り傷や出血が多いとき。
- ・頭部や腹部の切り傷、刺し傷。



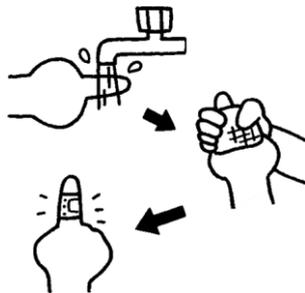
★ガラスやくぎが刺さっている

無理に抜こうしない。刺さったものが動かないように、周りに清潔なガーゼを当てて、至急外科へ。

切り傷の応急手当て

<浅い傷の場合>

傷口を水で洗って、清潔なガーゼを当てて止血。血が止まったら、救急ばんそうこうなどで保護。



<深い傷の場合>

傷口全体に清潔なガーゼを当てて強く押さえ、(3分以内)傷口が心臓より高い位置になるようにする。それでも血が止まりそうにないときは、救急車を呼ぶか外科へ。



とげの応急手当て

<とげの先が出ている場合>

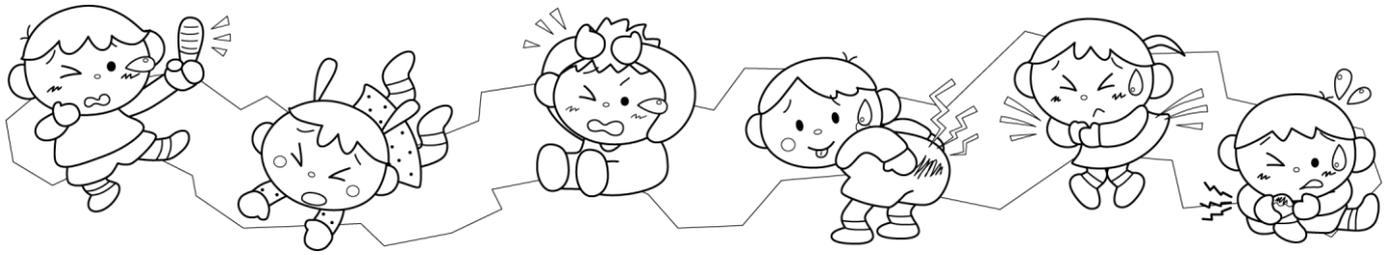
毛抜きなどで抜き、救急ばんそうこうを。



<とげの先が出ていない場合>

熱消毒した針やピンセットで、皮膚をほぐしながら、刺さったものを取る。その後、傷の周囲を押し、血を絞り出し、血といっしょに汚れを出す。最後に消毒して、救急ばんそうこうを。





打撲

こんなときは **病院** へ

★2～3日しても痛がっている

2～3日しても痛みがとれない、あるいはひどくなる場合は、骨にひびが入っていたり骨折していたりすることも。整形外科へ。

★みるみるうちにはれてきた

応急手当てで冷やしても、治まるどころかはれがひどくなる、痛みがとれないという場合は、外科か整形外科へ。

★胸部を打って、ひどく痛がる

一部分だけ激しく痛むようなときは、ろっ骨が折れている可能性も。急いで外科へ。また激しくせきこむ、血の混じったたんが出るようなときは、肺などの内臓に傷がついていることも。すぐ救急車を。



★腹部を打って、ひどく痛がる

冷や汗が出る、あるいは吐くなどの症状がある場合は外科へ。また、激しい腹痛や何度もおう吐が現れたときは、すぐに病院へ。

! こんなときは救急車を

- ・高い所から落ちて、首や背中などを強打し、意識がない。命にかかわることも。急に動かしたり、抱き上げたりは禁物。

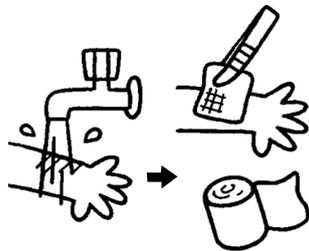


打撲の応急手当て

手足の打撲

①傷は洗って消毒

打ったところに傷がある場合、冷やす前に流水で土や砂を落とし、ガーゼを当て、包帯で傷を保護する。

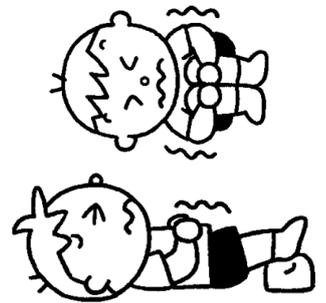


②打ったところを冷やす

傷がある場合は、包帯の上から氷のうなどで冷やす。傷がなければ、直接、冷水で湿らせたタオルを当てて、患部を冷やす。

おなかの打撲

衣服を緩め、ひざを抱えて、横向きやおお向けで足を高くするなど、本人が楽な姿勢で寝かせる。それで痛みが治まり、普通に歩けるようになれば、まずは安心。



胸の打撲

胸を圧迫しないように壁によりかからせ、呼吸が楽な姿勢にする。左右どちらかが痛む場合、痛いほうを下にして横になると、痛みが和らぐ。



脱きゅう・ねんざ・骨折

＋ こんなときは 病院へ

★関節から先に 力が入らない

ひじや肩などの関節から先がだらっとして、腕を上げられない。また、左右の腕・足の長さが違ったら脱きゅうの可能性が。すぐに外科か整形外科へ。



★はれがひどくて 痛みが激しい

みるみるうちにはれてくるようなねんざは、なるべく動かさないように(必要なら添え木で固定して)整形外科へ。

★指先が曲がったまま

指を伸ばす腱が切れているか、骨折をしている可能性が。動かさないようにして、必要なら割りばしなどで固定して整形外科へ。

★痛くて動かさない

急に激しい痛みを訴え、腕や足が動かない場合。脱きゅうや骨折を疑って外科か整形外科へ。



★変形している

けがをしたところが、見てすぐわかるほど変形したり、不自然に曲がっていたりしたら、整形外科へ。

★皮膚の色が 変わってくる

患部がはれ、皮膚が黒ずんできたりするときは、骨折の可能性が。整形外科へ。

！ こんなときは救急車を

- ・折れた骨が外に出ている、出血量が多い。
- ・激しく痛がって、少しも動かさないような場合は、患部を動かさないようにし、止血をして救急車を。



脱きゅうの応急手当て

①患部を確認

子どもが痛がらない程度に、そっと動かしながら、どこが脱きゅうしているか、確認をする。しろうと判断で無理に関節を入れたりせず、病院へ。

②添え木で固定

脱きゅうした関節が動かないように、添え木を当てて、包帯を巻いて固定。



③冷やす

冷水で湿らせたタオルや保冷パックなどを当てて、痛みを和らげながら病院へ。



ねんざの応急手当て

①まず冷やす

患部を動かさないようにして、冷水で湿らせたタオルや保冷パックで冷やす。



②患部の固定

ねんざした患部が動かないように、伸縮性のある包帯でやや強めに巻いて固定。痛みが続く場合は、包帯の上から氷のうや保冷パックなどで冷やす。



③患部を高くして安静に

冷やしたまま、患部を高くして安静にしていると楽になる。

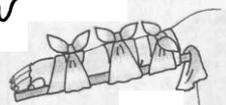


骨折の応急手当て

- ①出血していたら
清潔なガーゼをあてて



- ②添え木を当てる
(変形していてもそのままの状態固定)



上下2関節を含む



4 腕の固定

足の固定

頭を打った

こんなときは 病院へ

脳神経外科のある病院

つねっても反応がない



ぐったりして顔色が青い



鼻や耳から髄液まじりの出血がある



左右の手足の動きが違う



呼吸が乱れている



けいれんしている



瞳孔の大きさが左右で違う



くり返し吐く



頭のおぶや切り傷の応急処置

頭をぶつけても、大声で泣いて食欲もあれば、まずは安心。48時間は様子を見る。

①ガーゼ等で強く押さえつけて止血する。



②傷口を流水で洗う。



③ガーゼを当てる。



ぬれタオルで冷やして安静に。大きくなるおぶ、ぶよぶよしたおぶは要注意。病院へ。



救急車を待つ間の応急処置

嘔吐がある場合は、嘔吐物が気道につまることが考えられます。それを防ぐために、あごをそらせ、うつ伏せにして頭を横に向けた昏睡体位をとらせませす。体に毛布などを掛け、保温につとめること。

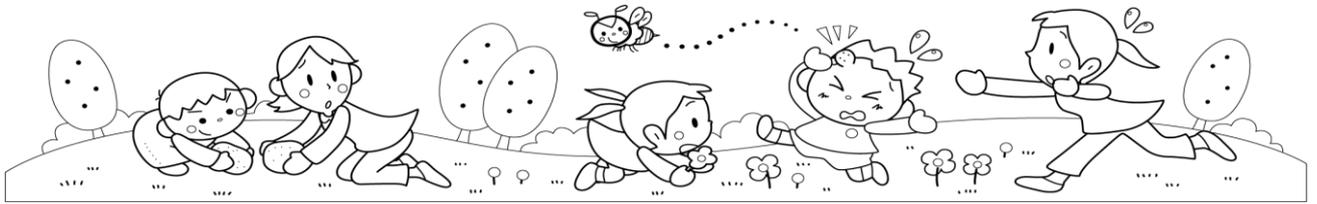


歯を打った こんなときは 歯科へ

- 歯が抜けた。
- グラグラしている。
- 軽く叩いてみて痛みがある。
- 歯並び（かみ合わせ）がかわった。
- 出血が止まらない。

- 歯が変色した。
- 歯肉が腫れてきた。

* 歯が折れたり、抜けた時は、洗わずに牛乳につけて30分以内に歯科医院へ持って行く。
乳歯は永久歯が歯並びよく生えるために必要です。



虫に刺された

こんなときは **病院** へ

★ムカデに刺された

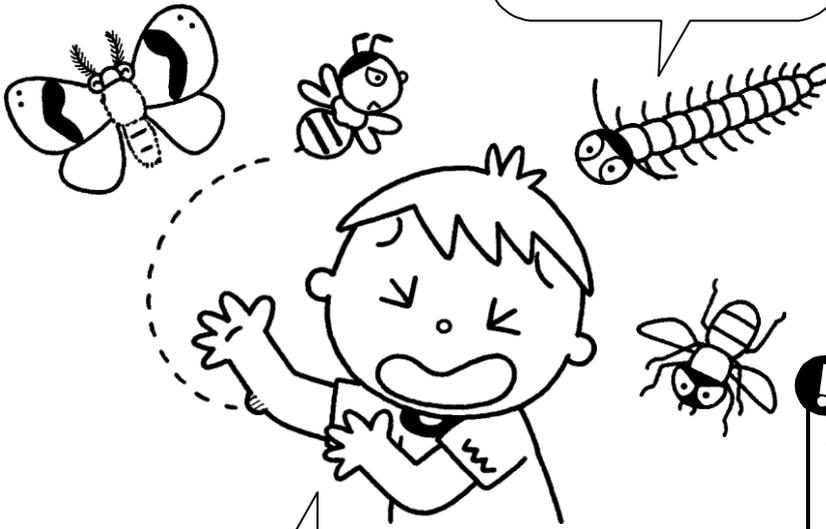
指でつまんで毒を出し、患部をよく洗って、皮膚科か外科へ。

Q こんな虫に要注意

～毒のある虫～

- スズメバチ
- ミツバチ
- ドクガ
- チャドクガ
- アブ
- フユ (フヨ)

一度、図鑑などで確認しておきましょう。

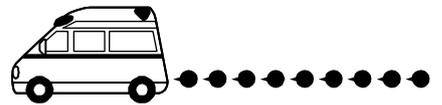


★はれや痛みが強い

ひどくはれて、かゆみや痛みがひどい場合は、皮膚科または小児科へ。

! こんなときは救急車を

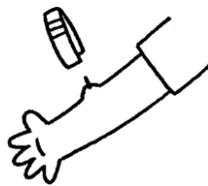
・スズメバチなどに襲われた。ハチにさされて呼吸が荒くなり、けいれん、おう吐、発熱、といった症状が見られたら、大至急救急車を。



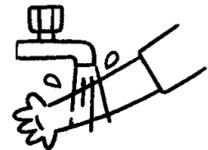
虫に刺されたときの応急手当て

ハチに刺された

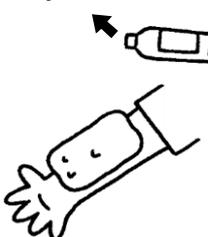
①針が残っていれば抜く
ハチの針が残っていたら、とげ抜きでそっと抜く。



②よく洗って軟こうを塗る
流水でよく洗い、虫刺され用の軟こう(抗ヒスタミンまたはステロイド)を塗る。

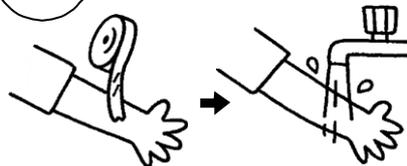


③冷やす
はれたり、かゆみがあるようなら、保冷パックや冷たいタオルで冷やす。



毛虫・ドクガに刺された

できるだけこすらないようにして、セロハンテープなどで毒針をはがし取る。流水でよく洗い流し、虫刺され用の軟こうを塗る。

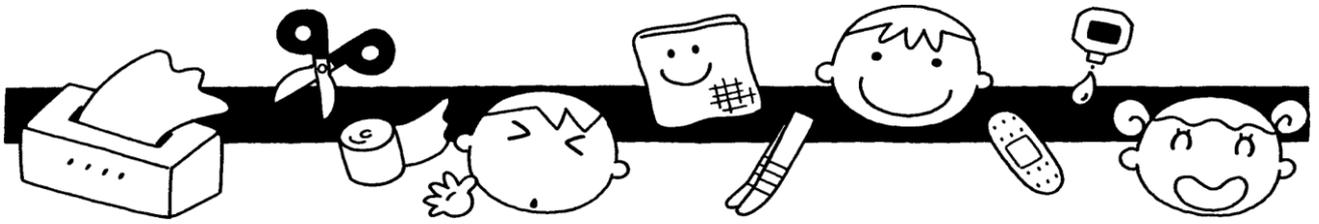


カヤフユに刺された

②かかないように、ガーゼかシールをがまんできずにかいてしまう場合は、ガーゼを当てるか、かゆみ止めのシールをはる。ただ、シールにかぶれる場合もあるので、皮膚の弱いお子さんは要注意。



①洗って軟こうを塗る
刺されたところをきれいに洗い、
②刺され用の軟こうを塗る。



鼻血が出た

こんなときは **病院へ**



★頭を強く打ったあとの鼻血

頭をぶつけたあとの鼻血は心配。
すぐに脳外科へ。

★10分以上出血が続く

手当てをすると、たいてい5分くらいで出血は止まる。10分以上鼻血が続き、止まるようすが見られない場合は、耳鼻科へ。



★頻繁に鼻血を出す

鼻をいじるくせもないのに、ちょっとしたことで鼻血が出る、頻繁に鼻血が出るという場合は、一度小児科または耳鼻科で検査を。

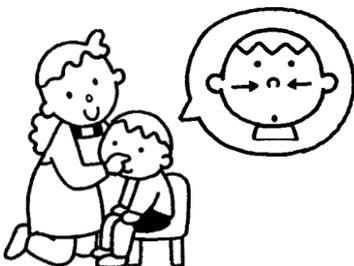


鼻血が出たときの応急手当

①いすに座らせて、

鼻をつまむ

いすに座らせ、少し前かがみの姿勢で、小鼻を強めにつまむ。口の中に血がたまっていたら、吐き出させる。座ることができない子どもの場合は、だっこしてあげて、鼻をつまむか、鼻血が出ているほうを下にして、横に寝かせる。



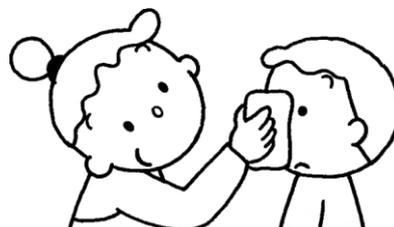
②ガーゼなどを詰める

鼻血の出ているほうの穴に丸めたガーゼなどを詰めておく。このときあまり奥まで詰めないように。先端は少し出しておく。



③冷やす

ぶつけて鼻血が出た場合は、冷たいタオルでおでこから鼻全体を覆うようにして冷やす。 7



これをやってはダメ!

- ×あお向けに寝かせる。
- ×首の後ろをたたく。

のどに鼻血が入りやすくなり、むせたり吐き気の原因になることも。